

平成 30 年 2 月 23 日（金）午後 3 時 30 分

平成 29 年度第 3 回学校協議会議事録

1. 学校長挨拶

今年一年の成果と、次年度への課題を討議していただきます。

2. 委員紹介

3. 今年度の本校の取り組み

（1）学校経営計画および学校評価について（校長）

数値目標に達しなかったものもあるが、多くの項目で成果が上がった。

（2）進路指導状況について（進路指導部長）

センター試験実受験者は 206 名であった。

国立大学出願懇談週間を実施し、国公立の出願大学数が大幅に増加した。

（3）「骨太の英語力養成事業」について（国際文化科長）

テストにはコンピュータを使用するが、コンピュータのトラブルが多く、効果的に実施できなかった。

GTEC の上位層は増加した。今年度より実施のスピーキングは 3 月に結果が出る。

（4）国際交流行事について（担当指導教諭）

訪日研修生の受け入れは実施団体の財政難より中止になった。また迎える留学生は今年度は少なかったなど、外部の条件に左右される面もあった。

学校の特色にもつながるので、受け入れプログラムを今後どうするかが課題。

（5）SSH 事業について（SSH 主担教諭）

スーパーサイエンスクラスなど、英語による発表の進展はみられる。

SSH の再申請には手ごたえがあった。

1 年生も英語の発表を行ったので、これは次年度につながるだろう。

国際共同研究の今後の取り組みが課題。

（6）ユネスコスクール活動について（担当指導教諭）

ユネスコスクールネットワークとしての参加、総合の授業の取組としての国際理解教育としての取組など、今年度も多岐にわたり活動した。

深い学びを得た生徒がいる一方、全校的な活動につなげるのが今後の課題。

（7）生活指導について（生活指導部長）

遅刻延べ数は昨年度より減少。後期に指導効果が薄れることや、大幅遅刻が課題。

あいさつ週間の開始、みだしなみ指導などを今後も継続。

（8）SIC の取組（教頭）

今年度の各プロジェクトの進展の説明。

阪南中学との相互授業見学が今年度より開始。

（9）本校の校則について（校長）

資料にしたがい説明

4. 質疑、協議 各学校協議委員より指導助言

Q 学校評価について、自己評価の数値の定量性に意味はあるのか。教育委員会ではどのように考えていると思われるか。

A 教育委員会では公表を意識し、数値目標を推奨している。ただし数値で測れない部分もたしかにあることは学校として認識している。

Q センター結果について、英語は良いが、物理、化学等はやや低調では。

A 該当科目では、上下の差が大きいと感じる。今後、どの層を伸ばすのかが検討課題。

Q 学校評価について、目標設定の仕方次第なので、それほど気にしなくてよいのでは。もちろん低い項目は重点目標とすべきだが。

Q 入試が変わっていく（記述式）ことに対し、どう対応するのか、その方向はどうか。

A 教育界では、授業改善を入試の改革で推進していく流れがある。入試の変化が明確になれば、授業の変化にもつながる。住吉高校は授業改革は進んでいると自負している。

Q ①何をもって評価とするかが問題。学校教育自己診断の「知識技能が身に付いているか」という設問については、身に付いている生徒ほどむしろ評価が低い結果が出ることが分かっている。

②国公立が増加するためには、保護者に支えていただくのが大切である。今年より行った国公立懇談週間の保護者へのアピールなどが重要。S高校では保護者向け進路説明会で保護者に進学した大学をアピールし、意識を高めている。

③本校は特色ある高校であり、国公立で6名推薦合格が出ているが、今後その蓄積が大切。I高校では国公立合格者のデータを蓄積し、成果につなげている。

Q 先生方にはそれほど時間はないかもしれないが、「担任以外に相談できる先生」の存在が大切であると思う。今後とも進路のわかりやすい説明を継続し、保護者の意識の改革につなげていただきたい。（行事の精選という話題に対し、）学業も大事だが、行事も大切ではと思う。

A カウンセリングは困難を抱えた生徒、保護者に対しては行っているが、現状では進路面の相談は担任の仕事と考えられている。「働き方改革」にもつながる部分ではあるが。

Q 国公立大学の教育環境のアドバンテージをもっとアピールすべきでは。

校則に関するコメント

標準服について、導入の効果はどうか。また、校則は細かいことを書くべきものではないと考える。保護者からの指導は教育の基本であり、保護者と教員の連帯が大切であると考ええる。

5. 次回開催 平成30年6月中旬ころ（予定）

6. 校長謝辞

次年度から大阪府ではこの協議会は「学校運営協議会」へと変わり、「学校運営に資する」近隣等も委員に加わる。学校経営計画の承認や、職員の任用に関する意見を述べるなど、さまざまな面での変更点がある。今後ともご協力お願いします。